

# 老人福祉センターまつり

## なつメロショー



令和7年11月 7日（金） 入場無料

第1部 新しい なつメロ 13時から13時50分

第2部 デュエット・踊り 14時10分から15時

第3部 懐かしい なつメロ 15時10分から16時

○出演：寒河江なつメロ愛好会のみなさん

○会場：寒河江市老人福祉センター

（寒河江市大字白岩字大江寺415番地）

○電話：0237-87-1328

○主催：寒河江市社会福祉協議会（指定管理者）

○マイクロバスでの送迎あり

※あらかじめ、お申し込みください。

雪國  
一、好きよ  
君はもう少しで  
※遠いたくて 今でも  
泣きたくなる夜  
そばにいて 恋しくて  
少しでも話を聞いて



11月7日

入場無料

高校三年生  
なつめの木の音  
いつまでも  
誰れ誰れに  
ああああ  
高校三年生  
なつめの木の音  
いつまでも  
ウクレレ仲間は  
誰れ誰れに  
ああああ  
高校三年生  
なつめの木の音  
いつまでも

# 老人福祉センターまつり



※ 年齢にかかわらず、ぜひお越しください。

11月8日

温めれば何度もやり直せる

世界中のカカオと  
みんな

山あり谷あり、もがき続けて19年

寒河江市老人福祉センターまつり(2日目) 映画上映会 2025年11月8日(土)

- |             |               |                                      |
|-------------|---------------|--------------------------------------|
| ① チョコレートな人々 | 12:30 ~ 14:12 | 会場：寒河江市老人福祉センター<br>(寒河江市大字白岩字大江寺415) |
| ② 人生フルーツ    | 14:30 ~ 16:01 |                                      |
| ③ チョコレートな人々 | 16:20 ~ 18:02 | 電話 : 0237-87-1328                    |

入場無料：あらかじめ、お申し込みが必要です。【主催】寒河江市社会福祉協議会(指定管理者)

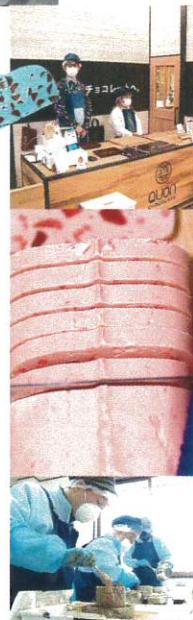
YouTube予告編↓



“人生はチョコレートの箱のようなもの。開けてみなくちゃわからない”

これは、映画『フォレスト・ガンプ／一期一会』の名台詞。

“本当に必要なのは愛だけど、たまにはチョコも悪くない”  
この映画は、人生とチョコレートにまつわる、甘くて、苦くて、カラフルなドキュメンタリーです。



「温めれば、何度だって、やり直せる」夢のような力  
私たちのチョコレート工場へようこそ！

愛知県豊橋市の街角にある「久遠チョコレート」。世界各地の力力オと、生産者の顔が見えるこだわりのフレーバー。品のよい甘さと彩り豊かなデザインで、たちまち多くのファンができました。その人気は日本中に広がり、いまではショップやラボなど全国に52の拠点を持ち、華やかなデパートのイベントの常連になっています。「久遠チョコレート」は、ほかのブランドとは一味違っています。代表の夏目浩次さんたちスタッフは、かれらが作るチョコレートのように、考え方がユニークでカラフル。心や体に障がいがある人、シングルペアレントや不登校経験者、セクシュアルマイノリティなど多様な人たちが働きやすく、しっかり稼ぐことができる職場づくりを続けてきました。

はじまりは2003年、26歳の夏目さんが3人のスタッフと始めた小さなパン屋さん。その後、いくつもの事業を展開してきた夏目さんですが、トップショコラティエの野口和男さんとの出会いが大きな転機になります。「チョコレートは失敗しても温めれば、作り直すことができる」。しかもチョコレートはアイディア次第で付加価値が高まる魔法の食材。多様な人々を受け入れる夢の扉が見えました。こうして、新しくて優しいチョコレートブランドの凸凹な物語がはじまりました。

『人生フルーツ』の  
東海テレビドキュメンタリー劇場最新作  
2021年日本民間放送連盟賞テレビ部門  
グランプリ受賞作がついに映画化!!

福祉と経済、生きがいと生産性、さまざまな人と共に働くよろこびと、その難しさ……理想を追い求めるチョコレートブランドの山あり谷あり、きれいなだけじゃない19年を描く、東海テレビドキュメンタリー劇場第14弾。どうぞご期待ください。

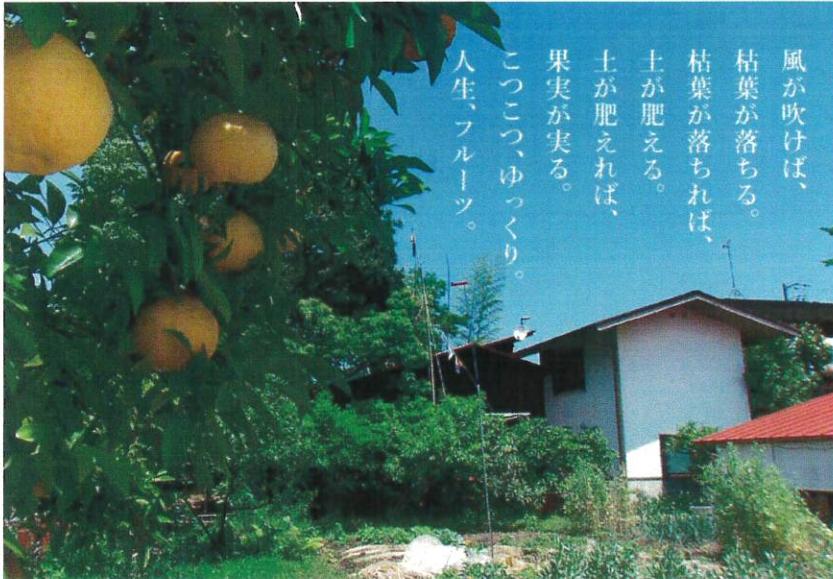


[www.tokaidoc.com/choco](http://www.tokaidoc.com/choco)

[@tokaidocmovie](https://twitter.com/tokaidocmovie)

[fb.com/tokaidoc.movie](https://facebook.com/tokaidoc.movie)

# 人生フルーツ



むかし、ある建築家が言いました。  
家は、暮らしの宝石箱でなくてはいけない。

愛知県春日井市の高蔵寺ニュータウンの一隅。雑木林に囲まれた一軒の平屋。それは建築家の津端修一さんが、師であるアントニン・レーモンドの自邸に倣って建てた家。四季折々、キッチンガーデンを彩る70種の野菜と50種の果実が、妻・英子さんの手で美味しいごちそうにかわります。刺繍や編み物から機織りまで、なんでもこなす英子さん。ふたりは、たがいの名を「さん付け」で呼び合います。長年連れ添った夫婦の暮らしは、細やかな気遣いと工夫に満ちていました。そう、「家は、暮らしの宝石箱でなくてはいけない」とは、モダニズムの巨匠ル・コルビュジエの言葉です。



かつて日本住宅公団のエースだった修一さんは、阿佐ヶ谷住宅や多摩平団地などの都市計画に携わってきました。1960年代、風の通り道になる雑木林を残し、自然との共生を目指したニュータウンを計画。けれど、経済優先の時代はそれを許さず、完成したのは理想とはほど遠い無機質な大規模団地。修一さんは、それまでの仕事から距離を置き、自ら手がけたニュータウンに土地を買い、家を建て、雑木林を育てはじめました——。あれから50年、ふたりは、コソコソ、ていねいに、時をためてきました。そして、90歳になった修一さんに新たな仕事の依頼がやってきます。

本作は東海テレビドキュメンタリー劇場第10弾。ナレーションをつとめるのは女優・樹木希林。ふたりの来し方と暮らしから、この国がある時代に諦めてしまった本当の豊かさへの深い思索の旅が、ゆっくりとはじまります。

※ 年齢にかかわらず、ぜひお越しください。

# 老人福祉センターまつり



## ふたりのこと

修一さん

1925年1月3日生まれ。東京大学を卒業後、建築設計事務所を経て、日本住宅公団へ。数々の都市計画を手がける。広島大学教授などを歴任し、自由時間評論家として活動。

英子さん

1928年1月18日生まれ。愛知県半田市のお端酒屋で育つ。27歳で修一さんと結婚し、娘2人を育てる。畑、料理、編み物、機織りなど、手間ひまかけた手仕事が大好き。

## ふたりの本

**キラリと、おしゃれ  
～キッチンガーデンのある暮らし～**

津端英子  
津端修一著  
(ミネルヴァ書房, 2007)

**あしたも、こはるびより。**

つばた英子  
つばたしゅういち著  
(主婦と生活社, 2011)

**ききがたり**

ときをためる暮らし  
つばた英子  
つばたしゅういち著  
(自然食通信社, 2012)

**ひでこさんのたからもの。**

つばた英子  
つばたしゅういち著  
(主婦と生活社, 2015)

**ふたりからひとり  
～ときをためる暮らし それから～**

つばた英子  
つばたしゅういち著  
(自然食通信社, 2016)

**最新刊  
2017年  
11月17日  
刊行**

きのう、きょう、あした。  
つばた英子  
つばたしゅういち著  
(主婦と生活社)

(C)東海テレビ放送

11月8日

YouTube予告編↓



寒河江市老人福祉センターまつり(2日目) 映画上映会 2025年11月8日(土)

① チョコレートな人々 12:30 ~ 14:12 会場：寒河江市老人福祉センター

② 人生フルーツ 14:30 ~ 16:01 (寒河江市大字白岩字大江寺415)

③ チョコレートな人々 16:20 ~ 18:02 電話 : 0237-87-1328

入場無料：あらかじめ、お申し込みが必要です。 [主催] 寒河江市社会福祉協議会 (指定管理者)